



自民党 県会報告

第189号

2月県議会 定例会

会期 2月14日(木)～
3月20日(水)

福島未来を切り拓く!

2月定例会は、2月14日から3月20日までの35日間の日程で開会され、平成31年度一般会計当初予算などについて審議し、予算に関する議案や意見書など152件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、追加代表質問1名、一般質問7名、総括質問4名が登壇し、復興と地方創生を更に前進させるための、県の施策についてたどりました。

平成31年度予算の主な内容については以下の通りです。

平成31年度一般会計当初予算 1兆4,603億円
そのうち復興・創生分 6,001億円

【主な内容】

- 原子力災害被災事業者事業再開等支援事業(38億6,242万円)
- ロボットテストフィールド整備等事業(78億4,385万円)
- (新)ふくしま事業承継等支援事業(10億7,745万円)
- (新)ふくしまの食によるインバウンド誘客促進事業(4,583万円)
- (新)病児保育促進事業(4,086万円)
- (新)ふくしま移住支援金給付事業(6,570万円)
- ふるさと福島若者人材確保事業(1億円)
- 県営あづま球場の改修(8億4,100万円)
- 土地改良区に対する総合支援(3億5,428万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書・決議

- 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
- 天皇陛下御即位三十年に関する賀詞奉呈決議

配信しています

ふくしま自民党公式LINE

党活動や県議会活動など様々な情報を発信しています。あなたのLINEのお友達にもぜひ紹介してください。

LINE@

登録はこちらのQRコードから



代表質問(平成31年2月21日)



自民党議員会を代表して、幹事長の太田光秋議員(南相馬市・飯館村選出)が登壇し、代表質問を行いました。

Q平成31年度当初予算をどのような考えの下に編成するのか

A内堀知事

避難地域はもとより、県全体の復興の加速と福島ならではの地方創生の実現に向けて事業を構築する。また、県全域にわたる防災力の向上と県土の強靱化に力を注ぎ、豊かな福島を築き上げる。

Q全国に誇れる健康長寿ふくしまへの取組は

A内堀知事

3月22日に知事を先頭に、関連する37の団体・企業と共働して「健康長寿ふくしま会議」を立ち上げ、新年度に健康づくりの機運醸成を図るイベントや市町村長・企業経営者向けのセミナーを実施し、健康づくりを推進する。

Q公立小学校における英語教育への取組は

A教育長

指導力に優れた「専科教員」を大幅に増員し、公開授業などで効果的な指導法の普及や、先進校の事例など現場で活用できる情報を積極的に発信し、英語教育の充実を図る。

Q県産農産物の輸出量拡大への取組は

A観光交流局長

東南アジアを重点地域とし、トップセールスなど販売促進に努め、タイ、インドネシアへの桃の輸出量が3年連続日本一、マレーシアへの米の輸出量が新たに日本一となった。今後さらに関係機関等と協働し輸出拡大を図る。

県土強靱化の予算

平成31年度土木部当初予算
2,802億円

前年度土木部当初予算額2,223億円に対し、
579億円の増額、対前年度比126%

復興・創生期間の4年目となる平成31年度は、復興を着実に進めるために必要な復興関連道路整備事業、平成30年7月豪雨を踏まえた治水対策事業や要望の多い維持補修事業など、復興・創生期間後を見据え、復旧・復興事業を着実に進めます。

【主な内容】

- 災害に強く安全で安心なまちづくりを支える道路整備(94億9,400万円)
- 公共土木施設等の災害復旧(東日本大震災)(99億9,800万円)
- 平成30年7月豪雨を踏まえた緊急的な取組(33億1,100万円)
- 帰還者向け復興公営住宅等の整備(38億7,900万円)
- 復興・創生を支援する道路整備(855億6,300万円)

自民党議員会の活動

児童虐待防止条例制定へプロジェクトチームを設置

相次ぐ児童虐待事件を受け、自民党議員会は、本県子どもへの虐待を防ぐため、3月20日に「児童虐待防止等条例制定に関するプロジェクトチーム」を設置しました。

自民党政調会 福祉公安部会長の遊佐久男議員(二本松市選出)を委員長とし、今後、関係機関や有識者との意見交換を重ね、実効性のある条例を制定して、県・関係機関と一丸となって対策を講じ、児童虐待防止に取り組んでまいります。

